

背景・目的

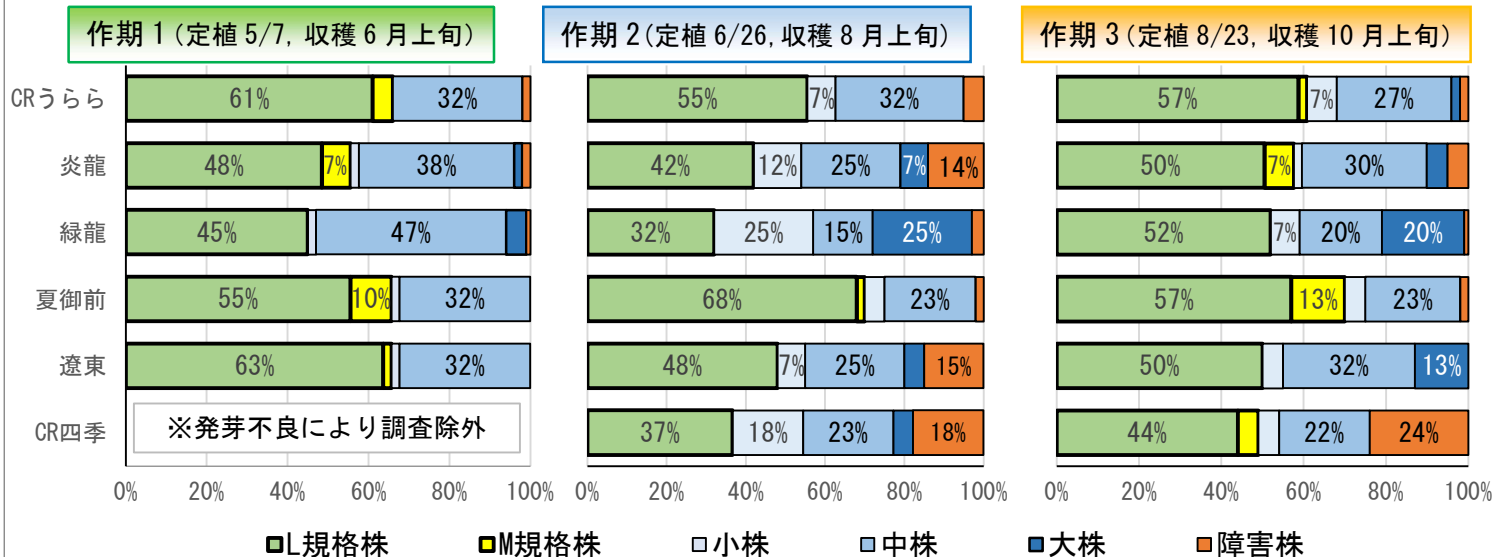
市内のチンゲンサイ栽培では、根こぶ病の被害拡大が課題となっており、根こぶ病抵抗性（CR）品種の導入が増えてきています。しかし、旭川青果物生産出荷協議会チンゲン菜部会で奨励されている CR 品種が少ないことから、当地に適した品種を作期別に検討しました。

- 評価のポイント
- ・L 規格株が多いこと
 - ・規格外の大株（草丈が 28cm を超える株）が少ないこと
 - ・障害株が少ないこと

結果

作期 1 及び 3 では‘CR うらら’，作期 2 では‘炎龍’を標準品種として評価を行いました。

● 規格別株数割合



○ 作期別推奨品種（標準品種との比較）

作期	作期 1		作期 2	作期 3
品種	夏御前	遼東	夏御前	夏御前
外観				
L 規格株	やや少ない	同等	多い	同等
規格外大株	同等	同等	少ない	少ない
障害株	無し	無し	少ない	同等
葉色	同等	同等	同等	やや淡い
株の形状	開張性	同等	同等	やや開張性

(参考) 葉色・形状が高評価

緑龍



やや少ない

多い

少ない

濃い

立性

結果の活かし方

収量性や栽培のしやすさを重視する場合は、作期 1 では‘夏御前’と‘遼東’を、作期 2 及び作期 3 では‘夏御前’をそれぞれ推奨します。また、葉色の濃さや立性な株の形状を重視する場合は‘緑龍’が有望ですが、草丈が伸びて大株になりやすいため、高温期を避けて栽培することをお勧めします。